

【理科】作問のねらいとする主な「思考力・判断力・表現力」についてのイメージ（案）

科学的な自然観を育成するための各領域における特徴的な見方

●エネルギー(主に, 物理): 量的・関係的な視点 ●粒子(主に, 化学): 質的・実体的な視点 ●生命(主に, 生物): 多様性と共通性の視点 ●地球(主に, 地学): 時間的・空間的な視点

		課題の把握(発見)	課題の探究(追究)	課題の解決		
		A 自然事象に対する気づき*1 課題の設定	B 仮説*2の設定・計画の立案	C 実行・記録・整理*3	D 考察・まとめ	E 新しい課題の発見
		*1: 既習の知識及び技能などの活用が求められる	*2: 課題に対する自らの考えのこと	*3: 技能を含めた取組も含む		
「思考力・判断力・表現力」 大学入学共通テストにおいて問いたい	自然の事物・現象から抽出・整理した情報について、共通点や相違点などを見いだすことができる	課題の解決に向けて、結果を予想したり仮説を立てたりすることができる	観察・実験・調査などの結果を、一定の条件で処理することなどができる	整理した新たな情報を基に、仮説の妥当性を多面的・総合的に判断することができる	科学的な根拠に基づき、結論を新たな概念として再構築したり、獲得した概念を応用して新たな自然の事物・現象として解釈したりすることができる	
	自然事象を観察したり、図・表や文章等の資料などから得たりした情報を基に、課題を発見することができる	仮説などを検証するため、観察・実験・調査の計画を立て、これを評価・選択・決定することができる	処理したデータを分析・評価し、課題の解決に向けた見通しなどを判断することができる	整理・統合するなどした複数の情報を科学的に考察し、課題の結論としてまとめることができる	探究活動を振り返り、結論を基に推論して次の課題を発見することができる	
			新たに獲得した複数の事物・現象に関する情報が共通の概念によって説明できることを見いだすことができる			
【参考】	■物事の中から問題を見いだす (例) 学習内容の把握、既習内容との関連を整理 科学の基本的な概念や原理・法則などを確認 など	■問題を定義、解決の方向性を決定 ■解決方法を探して計画を立案 (例) 学習活動の見通し など	■結果を予測しながら実行 (例) 観察・実験・調査の実施と、結果の整理 など	■精査した情報を基に、自己の考えを形成 (例) 比較、関係付け 学習活動の振り返り など	■次の問題発見・解決につなぐ ■新たな気づき (例) 新たな知識と既得の知識を相互に関連付け など	